

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	市道新設改良事業(洞清水中村線)			事業コード	2822
担当課等	所属名 建設部 道路建設課 課長名 片岡 修			担当係名	
		担当者名	佐藤 博	電話番号	2727

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	快適な都市機能	コード	施策	快適な居住環境の実現	コード								
			7			3								
	基本事業	生活道路環境の向上	コード 1	関連予算 費目名	一般会計 8款 2項 3目 市道新設改良事業(002-05)									
特記事項	総合計画主要事業													
事業期間	○ 单年度	○ 単年度繰返	● 期間限定複数年度	⇒ (20年度～25年度)										
事務事業の概要	本路線は、国道455号及び山岸地区の基幹道路を結ぶ路線であるが、幅員狭小な道路を通行せざるを得ない危険な状態であり、緊急車両の通行も困難となっている。さらに周辺には白百合学園や山岸小学校の通学にも利用されており、歩行者も危険にさらされている状況にある。また、よって、交通の安全確保を図るために道路拡幅整備を行うものである。													
	【事業計画】 ・位置 盛岡市山岸五丁目地内 ・幅員 W=6.0m(現況3.0m) L=260m													
	・平成20年度 測量設計、用地測量、地元説明会 ・平成21年度 用地測量、用地・補償 ・平成22年度 用地・補償、道路改良工事 ・平成23年度 用地・補償、道路改良工事 ・平成24年度 用地・補償、道路改良工事 ・平成25年度 道路改良工事													
根拠法令等	道路法、社会資本整備計画法、道路整備費の財源等の特例に関する法律、盛岡市総合計画													
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)														
本路線は、狭隘な生活道路であり車のすれ違いが困難であることから、道路拡幅の要望が住民よりあがっている。														
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか														
盛岡市議会やまちづくり懇談会(H20、H21山岸地区)等において早期の整備要望が寄せられている。														
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどう変化したか。今後の見通しはどうか														
狭隘な生活道路を防災機能も含めた交通安全対策の一環として継続して道路整備を進める必要がある。今後道路財源の確保が難しくなることが懸念される。														

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	市道、市道利用者(車両、歩行者、沿道住民)	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 事業計画総延長	単位	m
				B.		
				C.		
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) 用地取得・建物補償、道路改良工事 23年度計画(23年度に計画している主な活動) 用地取得・建物補償、道路改良工事	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 整備(供用)延長	単位	m
				B.		
				C.		
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	防災機能や基幹道路へのアクセス機能を高め、住民の利便性や安全性の向上を図る。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 整備(供用)延長 【指標の性格: ● 上げる ○ 下げる ○ 維持する】	単位	m
				B. 【指標の性格: ○ 上げる ○ 下げる ○ 維持する】		
				C. 【指標の性格: ○ 上げる ○ 下げる ○ 維持する】		
⑦結果 (上位基本事業の意図・上位の基本事業にどのように貢献するか)	道路環境の向上が図られる	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	市道改良率(単位:%) 市道除雪率(単位:%)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	事業計画総延長	m	260	260	260	260	260	260	25年度 260
対象 指標B									年度
対象 指標C									年度
活動 指標A	整備(供用)延長	m	0	0	40	20	100	60	25年度 260
活動 指標B									年度
活動 指標C									年度
成果 指標A	整備(供用)延長	m	0	0	40	20	100	60	25年度 260
成果 指標B									年度
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	5,600	5,900	20,000	20,900	18,400	10,000	*****
財源 内訳	④国	千円					9,900	5,500	*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円	5,300	5,600	19,000	19,800	7,600	4,200	*****
	⑦一般財源	千円	300	300	1,000	1,100	900	300	*****
	⑧その他	千円							*****
	合 計 (④~⑧) (=A)	千円	5,600	5,900	20,000	20,900	18,400	10,000	*****
	延べ業務時間数	時間	700	700	700	700	700	700	*****
	職員人件費 (B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	2,800	2,800	2,800	2,800	2,800	2,800	*****
	トータルコスト (A)+(B)	千円	8,400	8,700	22,800	23,700	21,200	12,800	*****

3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	①施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか?	<input type="radio"/> 見直す余地がある <input checked="" type="radio"/> 結びついている	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	②公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある <input checked="" type="radio"/> 妥当である	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他		
	理由: 市道の拡幅改良は、利用者である市民が安全に通行可能となり、生活道路環境の向上に結びつく。		
有効性評価	③対象の妥当性 対象の設定は現状のままでいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他		
	理由: 対象は市道及びこれを利用する市民等であり、広げたり絞ったりすることはできない。		
	④意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができない <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
効率性評価	⑤成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input type="radio"/> 向上余地がある <input checked="" type="radio"/> 向上余地がない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	理由: 本事業は、市道の拡幅で狭隘な箇所の改良して生活道路環境の向上に結びつくものであり、もっと向上する余地があるかどうかということにはならない。		
	⑥廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない <input checked="" type="radio"/> 影響がある	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	その内容: 地区の狭隘な生活道路を整備することにより交通の円滑化や安全性の向上に寄与している。したがって、事業を実施しない場合の住民への影響は大きい。		
公平性評価	⑦類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 類似事業がある <input type="radio"/> 類似事業がない	事業名: 都市計画街路整備事業、広域圏道路整備事業 ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？
	統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる <input checked="" type="radio"/> できない		⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	理由: 各事業の整備目的や必要性が異なるため統廃合は難しい。		
	⑧事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を節減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある <input checked="" type="radio"/> 削減できない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
理由: 道路の規格・構造や用地・補償費の算定は一定基準により算定されることから事業費の削減は厳しいが、計画にあっては既存施設等の利用及び経済比較等による精査によりコスト縮減に努めた。			
公平性評価	⑨人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある <input checked="" type="radio"/> 削減できない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	理由: 事業説明や用地補償で行う交渉等は、事業を円滑に進めるため必要であり、職員の業務時間数を削減することは難しい。		
	⑩受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	理由: 道路は不特定多数の市民が利用するものであり、利用者を特定して受益負担を求めるることは難しい。		
公平性評価	⑪費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	理由: 道路は不特定多数の市民が利用するものであり、利用者を特定して受益負担を求めるることは難しい。		

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革 ／ 改善 方向	①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1、代替案その2とすること
	②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？それをどう克服していきますか？ (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む)

5. 課長意見

一次 評価	(1)一次評価者としての評価結果	
	① 必要性	<input checked="" type="radio"/> 妥当 <input type="radio"/> 見直し余地あり
	② 有効性	<input checked="" type="radio"/> 妥当 <input type="radio"/> 見直し余地あり
	③ 効率性	<input checked="" type="radio"/> 妥当 <input type="radio"/> 見直し余地あり
	④ 公平性	<input checked="" type="radio"/> 妥当 <input type="radio"/> 見直し余地あり
今後 の 方向性 と 改革 改善 案	(2)全体総括(振り返り、反省点) 狭隘な道路であり、早期の完成が望まれる。	
	<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携
	方向付けの理由と改革改善の内容 住民の利便性と安全性の向上を図るために、事業の促進を図る。	